

11月の園だより

社会福祉法人
のぞみの会 大塚保育園
園長 高尾 順子
平成30年11月1日発行 No.434

急に涼しくなり、また朝晩と昼の気温差に、衣類の調整に頭を悩ませる今日この頃です。
先日、お子さんは近くの公園に遠足に行ってきました。自然の中では、お子さんたちは、遊びの工夫を始め、遊びを展開していきます。そして、幼児クラスになるとあまり大人が介入しないほうが、コミュニティが深まります。泣いている子がいれば、側に行き声をかけたり、皆で何かをするにはそれぞれ役割があり、それをリードするお子さんがいたり、調整するお子さんがいたり、仲間に入る為にはどうすればいいかを学んでいたります。見守っていると実に面白い興味深い光景を目にします。

来年度入園希望の方が、園見学に見えています。その時に多く聞かれる質問が「お散歩はいかれるんですか？」自然の中で得られる事を大切にしたいと思っていらっしゃるんですね。

お子さんは楽しい事、心地いい事、体験、感覚を通して学んでいきます。そこに大人のエッセンスを1滴落とす事で、体験が知識に変わっていきます。お子さんは正直ですから、楽しい体験は繰り返し、発展していきます。つまらなければやめてしまいます。この違いは何でしょう。好奇心をくすぐる事、ちょっと難しい事、皆さんはどう考えますか？

2歳児クラスになると遊びの中で見立てられるようになってきています。絵本で見たものや、体験したものを思い出してお友だちと再現しています。今日は「七ひきの子やぎ」をしていました。ワクワク・ドキドキする体験が環境の中にたくさんあるといいですね。

リトミックは、楽しんで参加しているお友だちもいれば、参加できないお友だちもいます。先日のリトミックの時、「先生全部やったよ」最初から最後まで参加できたお子さんが言った一言です。「やりたいけど、やれない」思い、お子さんはいろいろ葛藤しながら頑張っていたんですね。講師の先生も、担当の先生も、その子の時期、タイミングをあせらず待っていた事、運動会で頑張れたことの自信もあったのでしょ。感動した出来事でした。

園長

《保育参観ありがとうございました》

～保育参観を終えて～

※今年も保護者の方と理事長、園長と一緒に参観後、給食を食べながら、参観の感想やモンテッソーリ教育の事など話し合いました。その中での一言。
・モンテッソーリ教育の事を事前にもう少し教えて頂けたら個別活動を見るポイントがわかって良かった。
・個別活動と戸外活動で（静と動）のメリハリがあって良かった。

※今年は、初めてつきぐみさんも保育参観を行いました。個別活動中は、お子さんが気付かないようにフェンス側から見学していただき、朝のサークルが始まる頃からお子さんと同じ空間での参観をしました。一緒に遊んでいたたり、お給食と一緒に食べ楽しい時間を過ごしました。

■モンテッソーリ教育とは？

モンテッソーリ教育とは、イタリア初の女性医師として知られるマリア・モンテッソーリ（1870～1952）によって考案された教育法です。モンテッソーリ教育の目的は、それぞれ発達段階にある子どもを援助し、子どもの自立にあります。モンテッソーリの教育法によって引き出していく自発的に行動できる力や考え学び続ける力などは自立によってかなえられるとされているためです。「子どもは自分で成長し発達する力をもって生まれてくる」ことがモンテッソーリの教育法の基本でもあります。そのため大人は“子どものサポート役として“援助”するだけで、子どもの自発的活動を妨げてはいけません”存在だとされています。この目的を達成するため、マリア・モンテッソーリ女史は、子どもを観察し、そこから得た事実に基づいて教育法を構成し、独特の体系を持つ教具を開発しました。その教育法の正しさは、現代の脳生理学、心理学、教育学などの成果によって証明されています。

■モンテッソーリ教育の特徴

モンテッソーリ教育では、子ども達が安心して自由に個別活動をします。モンテッソーリは、子どもを観察するうちに、月齢や年齢ごとに子ども達の興味の対象が次々と移り変わる点に着目しました。脳生理学に基づき、さまざまな能力の獲得には、それぞれ最適な時期があると結論付け、これを「敏感期」と名付けました。子どもが自分で自由に教具を選べる環境を作り、やってみたいと思わせる魅力的な教具を揃えます。大人は子どもが自ら成長しようとするのを手伝う「援助者」として接することが大切です。モンテッソーリの教室は、社会的・知的協調心を促すため、3歳の幅を持つ異年齢混合クラスです。このクラスの中で、子ども達はお互いから学び合います。年下の子どもは年上の子ども達の活動を見て学び、年上の子は年下の子の世話をすることや教えることから学ぶのです。

参考文献 『親子が輝くモンテッソーリのメッセージ』 相良敦子 著作
『やさしい解説モンテッソーリ教育』 藤原元一・桂子・江里子 著作

行事予定

- 1日(木) リトミック
- 5日(月) 芋掘り(幼児)
- 7日(水) お弁当箱の日(幼児)
- 8日(木) リトミック参観[3歳児]
- 13日(火) 体操教室
- 14日(水) 避難訓練(鹿島小合同)
- 15日(木) リトミック
乳児健診
- 16日(金) 誕生会
- 17日(土) 移動動物園
- 19日(月) おゆうぎ会練習開始
- 27日(火) おゆうぎ会紹介

5日お芋掘りの
お手伝いをしてくださる方
募集しています！

お弁当箱の日

【幼児クラス】

リュックサックの中に空のお弁当箱・
水筒(お茶orお水)・シートを入れ、
通常保育準備と共に
ご用意をお願いします。

＜乳児クラスおすすめ絵本＞
『どんぐりどんぐり』

＜幼児クラスおすすめ絵本＞
『こすすめのぼうけん』

平成31年度・新入園児入園手続

11/1～11/19郵送受付が始まっています。
窓口受付は11/19～11/30です。
市配布のしおりをご覧ください。

12月8日(土) おゆうぎ会があります。

詳しくは、後日配布されます
お知らせをご覧ください。

～運動会のリハーサルでは～

今年も鹿島にある「らいふるねっともえ」
居宅介護支援サービスにいらしてのおじいちゃん、
おばあちゃんがリハーサルを見に来てくれました。
温かい眼差しで見てください、側を通ると大きく手を
振って下さり「可愛い」「すごい」と声をかけていただき、
子ども達も以上の以上頑張っている姿が見られました。
お土産にぶどうのネックレス(ストロー通し)を差し上げました。
子ども達からエネルギーを頂いたと喜んでいました。

最近の遊び

最近ではタイヤを
引っ張るだけではなく、
タイヤを積み重ねたり、
タイヤを見立てて
遊びの世界が広がっています。

カメラリ相探

ビックリ箱

《幼児クラスの保護者の方へ》

水筒持参のご協力どうも有難うございました。
今年は猛暑が続いたため、水筒を持参して
頂いたお陰で、自分のタイミングで飲む量を
調整する事が出来ました。
エントランスで休憩したり、お話ししながら
クールダウンしていました。
保護者の皆様には、お手数おかけしまして
申し訳ございませんでした。

《幼児クラスで延長保育される 保護者の方へ(11/5～)》

2階受け入れカウンター上のボードに
毎日その日の様子をお知らせしたり、
お願い事を書いてあります。
2階に上がっていただいて、お迎えボード
表にチェック・ウォールポケットの確認・
ボードの閲覧をしていただいてから
1階乳児ホールまでお迎えに来て下さい。
お手数おかけしますが、どうぞ宜しくお願いします。